

## エ サービス基盤整備の方向性について

### 1 今期計画中の施設整備状況

募集サービス	整備目標	整備対象圏域	選定状況	整備予定床数	残床数
介護老人福祉施設	60床	併設ショートステイ床からの転換整備	H30選定	10床	15床
			H30選定	5床	
			H30選定	6床	
			H30選定	10床	
			H30選定	10床	
			H30選定	4床	
地域密着型介護老人福祉施設	58床	第1・2・5・6・8・10・11・12・14圏域	H30応募ありだったが選定者なし	0床	58床
認知症対応型共同生活介護	36床	第3・4・5・6・8・10・12・13圏域	H30選定	18床	0床
			H30選定	18床	
特定施設入居者生活介護	60床	市内全域	H30選定	44床	16床

### 2 市内施設の状況（※今後整備予定含む）

種別	施設数	定員
介護老人福祉施設	16施設	1,315人
地域密着型介護老人福祉施設	11施設	310人
介護老人保健施設	12施設	1,189人
介護療養型医療施設	2施設	41人
介護医療院	5施設	123人
認知症対応型共同生活介護	(現41+見込2) 43施設	(現588+見込36) 624人
特定施設入居者生活介護	養護・軽費	2施設 110人
	有料・サ高住	(現13+見込1) 14施設 950人
地域密着型特定施設入居者生活介護	有料	2施設 27人
有料老人ホーム (特定施設入居者生活介護の指定を受けないもの)	47施設	875人
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設入居者生活介護の指定を受けないもの)	15施設	345人

### 3 介護老人福祉施設の入所待機者の現状（いわき市民のみ・重複削除）

本年7月に実施した令和2年4月1日現在の入所希望者調査では、以下のとおりとなった。

<介護老人福祉施設>

待機場所	合計	割合	(内訳)					
			要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	認定なし
在宅	532	46%	87	148	273	20	3	1
医療機関	162	14%	57	56	45	2	1	1
他の特別養護老人ホーム	8	1%	1	3	4	0	0	0
介護老人保健施設	200	17%	36	63	91	7	3	0
介護医療院 (介護療養型医療施設)	25	2%	11	9	5	0	0	0
グループホーム	60	5%	9	14	34	2	1	0
養護老人ホーム	8	1%	1	1	6	0	0	0
軽費老人ホーム	2	0%	0	0	2	0	0	0
有料老人ホーム	46	4%	6	17	22	1	0	0
サービス付き高齢者向け住宅	12	1%	3	3	6	0	0	0
未確認	105	9%	32	32	33	4	0	4
合計	1,160		243	346	521	36	8	6

介護老人福祉施設においては、待機者の約半分が在宅であるが、医療機関や介護老人保健施設からの待機者も比較的多い結果となった。

### 4 介護老人福祉施設の入所者数の現状（市外の被保険者含む）

本年7月に実施した令和2年4月1日現在の入所者数調査では、以下のとおりとなった。

<介護老人福祉施設>

定員数	入所者数	内訳				
		要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1
1,625	1,600	635	626	285	45	9
割合	98%	40%	39%	18%	3%	1%

介護老人福祉施設においては、入所率が98%とほぼ満床に近い。

### 5 介護老人福祉施設の新規入所者待機期間及び退所理由（市外の被保険者含む）

本年7月に実施した令和元年度中（H31.4～R2.3）の新規入所者及び退所者調査では、以下のとおりとなった。

<介護老人福祉施設>

入所定員	新規入所者数		定員に対する割合		退所者数			定員に対する割合	
1,625	479		29%		449			28%	
	(待機期間内訳)				(退所理由内訳)				
	3か月未満	半年未満	1年未満	1年以上	死亡	長期入院	施設介護困難	希望	その他
	167	117	64	131	379	47	15	6	2
	35%	24%	13%	27%	84%	10%	3%	1%	0%

介護老人福祉施設の新規入所者については、入所に至るまでの期間にばらつきがあり、およそ6割の方が半年以内に入所できている一方で、約3割の方は1年以上かかっている。退所者については、死亡退所が84%であり、入所者が亡くなるまでは空きが出ない状況。また、定員に対する1年間の入退所者数の割合は約30%となっている。

(参考) その他施設の入所者数の現状と、新規入所者数及び退所者数

<認知症対応型共同生活介護>

定員数	入所者数	内訳						
		要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1
588	570	78	106	197	118	70	1	0
割合	97%	14%	19%	35%	21%	12%	0%	0%

認知症対応型共同生活介護においても、入所率97%と満床に近い。

入所定員	新規入所者数	定員に対する割合	退所者数	定員に対する割合
588	156	27%	163	28%

定員に対する1年間の入退所者数の割合は、概ね介護老人福祉施設と同等で、約30%となっている。

<特定施設入居者生活介護>

定員数	入所者数	内訳							
		要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1	自立
1,043	859	93	146	149	149	137	25	26	134
割合	82%	11%	17%	17%	17%	16%	3%	3%	16%

特定施設入居者生活介護においては、令和元年9月に開設したばかりの事業所が含まれていることも影響してか入所率は82%に留まる。

入所定員	新規入所者数	定員に対する割合	退所者数	定員に対する割合
1,043	216	21%	191	18%

定員に対する1年間の入退所者数の割合は20%前後と、他の施設に比べて動きが鈍い様子が伺える。

## 6 介護保険事業者の整備意向について

本年7月に介護保険事業者315法人に対して、第9次市高齢者保健福祉計画策定に係る調査を行った結果、以下のとおりの整備意向があった。

種別	整備・拡充意向 法人数/整備数量	備考
介護老人福祉施設	なし	
地域密着型 介護老人福祉施設	3法人/87床	整備数量未設定：2法人 当該2法人については、標準指標の29床で想定。
介護老人保健施設	1法人/4床	既存施設の増床。
介護医療院	3法人/54床	3法人すべて医療療養病床からの転換整備。
認知症対応型共同生活介護	7法人/117床	整備数量未設定：2法人 当該2法人については、標準指標の18床で想定。
特定施設入居者生活介護 (地域密着型含む)	5法人/312床	

## 7 サービス基盤整備の方向性について

本市では、高齢化の進行に伴う介護サービス需要の増加に加え、認知症高齢者等、多様な生活課題を抱える高齢者の増加にも対応し、介護人材確保が困難な現状も勘案しながら、地域ニーズを踏まえた在宅サービスと施設サービスとのバランスが取れた基盤整備に取り組んでおります。

次期計画においては、調査結果に基づく事業所の整備意向、今後の高齢者サービスのニーズを踏まえて、以下の方針で整備を進めていきます。

種別	今期計画 残床	待機者	整備・拡充 意向	次期計画 整備方針
介護老人福祉施設	15床	多い	無	SSからの転換 整備のみ可
地域密着型介護老人福祉施設	58床	多い	有	整備予定
介護老人保健施設	-	-	有	転換整備のみ可
介護医療院	-	-	有	転換整備のみ可
認知症対応型共同生活介護	0床	-	有	整備予定
特定施設入居者生活介護 (地域密着型含む)	16床	-	有	整備予定